

講義名	研究演習（全学部）		
講義コード	25202	授業形態	
担当教員	与那覇 秀勲	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		サンパリング・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
全学部	地域スポーツマネジメント（与那覇秀勲ゼミナール）

概要説明

地域スポーツの領域は、クラブづくり、事業づくり、地域づくりから成り立っています。本ゼミでは、地域スポーツに関わる多様な主体（クラブ、地域団体、学校、企業等）が提供するスポーツ事業や組織運営を取り上げます。なぜ地域のスポーツ活動は無償で提供されるのか？なぜ子どもたちは複数の種目より一つの種目を追求するのか？なぜいま中学校の部活動は学校から地域に移行されようとしているのか？部活動が地域に移行すると中学生にどのような影響があるのかなど、これらのことに興味・関心をもっている方にゼミ加入をお薦めします。スポーツが好き、人とぶれあうのが好き、地域づくりに興味がある、健康・スポーツ事業を企画してみたいという方は、ぜひ一緒に学んでみませんか。

2回生の後期（研究演習）の活動
地域スポーツの実態を知るため、皆さんの街にある地域スポーツクラブの活動を調査していきます。グループごとに地域スポーツクラブでフィールドワークを行い、報告会を実施します。

3回生のゼミ活動（研究演習）
社会連携事業に取り組みます。特に事業構想とそれを伝えるプレゼンテーション力の向上に力を注いでいきます。また、それらの活動と並行しながら、学外イベントへや教員が行う研究プロジェクトへの参加を通して対外的なコミュニケーションスキルや社会人基礎力の向上をめざします。

4回生のゼミ活動（卒業研究）
就職活動を柱に置きながら、卒業研究に取り組んでもらいます。研究の進捗によっては、国内外の学会での発表を行います。

主な卒業論文のタイトル

教員からの要望

ゼミ活動は、自身の取り組み方一つで充実したものにも、退屈したものにもなります。ゼミのメンバーには、フィールドワークやプロジェクト、研究活動への積極的な参加を期待しています。

選考方法

ゼミ希望者の履歴書、成績、面接を総合的に判断しながら選考します。必ず個別ガイダンスにお越しください。

評価方法

出席、課題（レポート、プレゼンテーションなど）、ゼミ活動に対する積極性や貢献度によって評価します。

到達目標・成果物

2回生の後期（研究演習）の到達目標・成果物
 <到達目標>
 ・地域スポーツクラブの運営実態を理解できるようになる。
 ・フィールドワークを通じて、クラブの調査の基本的な手法を理解し、実践できるようになる。
 <成果物>
 ・フィールドワークの成果をまとめたレポートを提出する。

3回生のゼミ活動（研究演習）
 <到達目標>
 ・地域スポーツクラブの目的や社会課題に沿った事業構想力を身につける

教員英字氏名	研究室
HIDEKI YONAHA	5416

最終学歴
神戸大学大学院人間発達環境学研究所 博士前期課程修了

学位
修士（学術）

主な研究活動・社会活動・研究業績

現在の研究テーマ
 ・地域スポーツクラブの組織能力
 ・クラブ代表者の学習志向と企業家志向が組織パフォーマンスに及ぼす影響

社会活動
 ・NPO法人スポーツクラブ21はりま 理事
 ・NPO法人レックス体操クラブ 監事
 ・兵庫体育・スポーツ科学学会 研究企画委員

主な研究業績
 ・与那覇秀勲・高松祥平（2020）大学を拠点とする総合型地域スポーツクラブの発展 地域トリプルヘリックスモデルの応用、生涯スポーツ学研究、17(1)、41-52。
 ・与那覇秀勲・山口泰雄（2024）総合型地域スポーツクラブの自立過程に関する研究 - 公共スポーツ施設の指定管理を担うクラブに着目して - 体育・スポーツ科学、33、1-12。

趣味・特技

趣味：ゴルフ、スポーツ観戦
特技：ポウリング

所属

人間社会学部人間健康学科

所属学会

日本体育・スポーツ・健康学会、日本生涯スポーツ学会、日本体育・スポーツ経営学会、日本NPO学会、兵庫体育・スポーツ科学学会

専門分野

スポーツ組織経営論、地域スポーツマネジメント

担当科目

健康・スポーツ関連企業分析、地域スポーツ論、地域スポーツ実践論、スポーツ組織論、スポーツ施設マネジメント、野外教育活動演習、スポーツキャリア論

備考

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
地域スポーツ関連団体や企業、学校とのネットワークを活かし、現場実習や担当者へのプレゼンテーションの機会をつくる。